



四万十高校学校新聞

平成 25 年 10 月 日発行

10/26(土) 体育祭！

【体育祭実行委員長：中山航にインタビュー】

『つくれ！四万十レジェンド ～四十一度の魂を捧げよ～』のテーマのもと体育祭が行われます。パン食い競争や仮装コンテスト、部活対抗リレーといった種目や応援合戦など学年対抗で競い合います。現在、生徒会と体育委員を中心に準備に追われる日々です。当日は先輩、後輩関係なく、皆が正々堂々と戦い、思い出に残る体育祭としたいです。保護者や地域の皆様、ぜひお越しください。

(取材・文責：竹内茜)

高大連携事業



9月10日から15日までの1週間、関西大学(社会的信頼システム創生センター ST

EP)の教授・学生25名が、大正支所、森林組合、海洋堂そして四万十高校と連携し大正地域の活性化に向けて、様々な事業に取り組みました。

STEPの学生たちは、東日本大震災の被災地の復興や大阪の地元商店街の活性化に向けた実践活動をしており、四万十高校の生徒たちが、自分たちの



住んでいる地域への関心をもっと深め、広い視野に立ち長い期間を通して地域の活



性化に役立てる大人に成長してもらいたいと、この訪問に向けて2～3ヶ月前から準備をしていたそうです。

2年2ホームの生徒たちとは魚梁瀬研修に同行して夜のミーティングで、他の

1・2年生たちとは、社会で協力し合うことの難しさを体験するゲームや、高校生活や大学生活の意味などについてのディスカッションを通して学びあいました。高校生にとってはめったに聞けない現役大学生からの進路決定の決め手や大学生活の様子などを聞くことができ、良い刺激となりました。この事業は来年度以降も継続していくことが決定しており、様々な展開が期待できます。

屋久島研修レポート

【1年 自然環境コース 山脇諒也】



7月22日。バスで高知港まで行くと高知海洋高校の船「海援丸」がありました。乗船後は船内の見学をさせてもらい、縄の結び方なども教えてもらいました。船の清掃や

食事の準備もし、船員として乗船しました。それらを通して海洋高校の生徒とも仲良くなったと思います。

7月23日。いよいよ屋久島に到着しました。船から島が見え、「あれが屋久島か」とテンションが上がりました。宿では屋久島の名産であるトビウオやお刺身など海の幸を食べました。凄く美味しかったです。

7月24日。太忠岳登山。体を動かす事が大嫌いな僕は登りきれるか不安でした。前半は道も整備されて登りやすかったのですが、後半は急斜面やゴツゴツ



した大きな岩がたくさんあり、とても大変でした。それでも頂上につくと景色が凄く綺麗で、疲れを忘れるほどでした。皆でこれでもかという

くらいいっぱい写真を撮りました。下山時、僕たち生徒は早く降りて行けましたが、先生方はかなり遅かったです。この日の夜は疲れきってすぐ寝てしまいました。

7月25日。西部林道では餌付けのされていないヤクシカやヤクザルを見ることができました。ヤクザルの赤ちゃんは可愛かったです。大川の滝では大きな滝を間近で見ました。凄い迫力でした。

7月26日。遂に屋久島研修最後の日です。屋久島を出発するとき友達と「また来たい」と話しあいました。この屋久島研修は海に山にと大変密度の濃い一週間でした。この研修で学べたことや疑問を11月の環境学習発表会で報告したいと思います。

若武者絶対増やす会



知ってもらう』ことを目的にプログラムを組みました。参加者は姉妹校である尾瀬高校(群馬)から生徒3名、教員1名、一般から6名が参加してくださり、四万十



して携わりました。初日は水生生物調査、シチョウゲの調査、ラフティングといった川のきれいさや楽しさを存分に味わってもらいました。2日目には「豊かな川をつくるのは豊かな森である」ということで市ノ又風景林ウォーキングを行いました。



事前の準備やリハーサルなど、すべて私たち生徒だけで段取りを行いました。初めてのことでとても勉強になりました。

参加者のほとんどが県外の方で占められており、その感想から参加者の皆さんには四万十町の美しさや楽しさを十分伝えることができたと思います。後輩たちには引き続き若武者の活動を継続してもらいたいと思います。(WZF 代表 田辺帝斗)

姉妹校交流を兼ねて8月21日から22日にかけて活動を行いました。『四万十の持つ魅力を

高 校 から 生 徒 6 名 教 員 3 名 が 主 に 運 営 と

部活動報告

【ソフトボール部主将:丸山直樹】

9月に夏季大会が行われました。1・2年生だけでは6人と人数が足りず、3年生にも協力してもらい、何とか試合に出場することができました。3回戦で惜しくも負けてしまいましたが、最後に3年生とのいい思い出ができました。

10月には幡多農業高校と合同チームで秋季大会に出場しました。残念ながら1回戦で敗退しましたが、貴重な経験となりました。合同チームで出場できる大会は秋季大会までとなっており、今後は4月まで大会がありません。モチベーションを落とさず、春には新入部員を迎え新体制で大会に挑みたいと思います。

(取材・文責:小野川慎二郎)

夏季大会

1回戦・四万十 36-0 土佐塾

2回戦・四万十 10-0 山田

3回戦・四万十 1-2 学芸

秋季大会

1回戦・四万十・幡多農 0-5 宿毛工業

【バレーボール部】

今回、春野高校、高知工業と合同チームで夏季大会に出場しました。私たち四万十高校は全員一年生です。最初は合同ということで戸惑いもありましたが、他校の先輩方が優しく接してくれたので試合までに馴染むことができました。夏休みなどに合同練習を行い、今までやったことのない練習メニューにも取り組み、精神的にも辛かったですが、みんなで励ましあって乗り越えることができました。試合には負けてしまいましたが、貴重でよい経験となりました。

(取材・文責:宮地明日香)

1回戦・岡豊 四万十

2 — 0

第1セット 25-13

第2セット 25-15

ボランティア報告



7月27日、夏休みまもないころに大正駅で花壇整備を行いました。生

徒会のメンバーと3年生有志で協力し、たくさんの花を植えました。一番大きな花壇には、先生の提案でクリの形に寄せ植えすることになりましたが、先生は張り切りすぎている感が否めず、栗の形に見せるのは難しいと気づいたことから、『大正』という文字をつくることになりました。

ここ四万十町は、四万十川を初めとするたくさんの有名なものがあり、特に夏休みは観光客が増えるので、今回の花壇整備で大正のことが少しでも印象に残ってくれていればと思います。

他にも『ねんりんピック』で会場に飾るパンジーの苗を夏休みにポットに植えています。四万十高校は、進んでボランティアのできる学校です。今後も地域や社会に貢献していきたいと思っています。



(文責:川村未来)

リレー随筆

「高校生だった頃」



理科教諭 小笠原理佳
おさげ髪にジャンパースカート、卒業写真のこの人はメガネの上に前髪をかぶせ、背中を思いっきり丸めて座っていました。我ながらイタ子だったと思います。

とにかく一人で行動する人間でした。連れション全盛時代に一人でトイレとかは当たり前。遠足では「単独行動禁止」の注意を無視して単独フィールドワーク。休日も一人で四国88ヵ所参り。我が家の方針は「日帰りならどこでも行っていい」だったので、時刻表を念入りに検討し、お寺スタンプを集めていました。特技はトランプ占い。相当な変わり者でしたが、クラスメイトも先生も「個性」を認めてくれていたように思います。友達は普通にいたし、遠足で単独行動中に巡回の先生に出くわしたときにも、「コイツは仕方ない」って感じで注意されませんでしたし（笑）。

部活はやっていましたよ、演劇部と茶道部を掛け持ちで。演劇部では音響照明をはじめ、舞台セットや衣装作成まで。つまり裏方専門ですね。茶道部ではお茶会道具の準備や人員配置、前売りチケット販売と、こちらも段取り専門で。どちらも誘われて入部した部活でしたが、あのときの経験が今生きていると実感します。自分から行動したことより、誰かに誘われてやってみた経験のほうが、今では役に立っているような・・・自分がないものが得られるからかも知れません。

高校時代の私にとって勉強は入試のためのもので、高3では「意味はわからないけど正解が何番かはわかる」という驚異の能力？を身につけました。そのせいで大学では大変苦労し、遂には留年することになるのですが・・・その話は別の機会に。

古いアルバムの中は思い出がいっぱいどころか、「こんなんだっけ」と思う写真ばかり。高校時代はいよいよ遠くなってしまいました。でも写真って、現在の自分のためじゃなく、未来へのメッセージなんだと改めて思います。今は言い分があっても、やっぱり、笑顔で写真に写っておくのがいいよ、うん。（取材：西岡みずき）

四万十町内押しピンの旅

テレビ番組に『日本列島ダーツの旅』というものがありますが、これを四万十町内に限定して、ダーツもないので押しピンを投げて刺さったところへ行くという本企画。第2回は【下津井】エリア。四万十高校から約20km、梶原川にそって車で約35分ほどの地域です。

地域人のおばちゃんのお話



この辺りは、ばあちゃんが多くてねえ、若い人が少ない。でもみんな元気ちや。一番長生きなばあちゃんは、91歳のばあちゃんねえ、南国

市から来た人ながよ。それに比べて、じいちゃんが少ないちや。やけんねえ、皆の助け合いが凄いちや。みんなで、協力して、お葬式とかもしよる。下津井のええところは、和気あいあいなところちや。親戚とかなくてもね、皆が家族みたいな感じちや。

めがね橋がね、文化遺産になっちゅうろお。あ



れも自慢やねえ。

台風の恐れもないちや。柵みたいなのを付けちよるき、石とかも落ちてくる心配もない。下津井は奥やきね、買い物に行くのが不便やけど、トンネルも2つ付いたき、便利になったちや。

他にね、空気がこじゃんち綺麗で、自然が多いちや。ほんやけん野菜もよく育つちやね。お米もねえ、飲めるくらの綺麗な水を山からひいて使っちゃよるきね、どこのお米を食べても美味しいちや。



【取材後記】学校出発時の気温は33度の暑い日でしたが、下津井は涼しく、気持ちの良い空気が感じられました。収穫時期と重なり、ほんとにおいしそうで、ぜひとも下津井のお米を食べてみたいと思いました。(取材:岡崎ありな)

卒業生列伝

四万十高校を巣立った先輩の高校時代と現在を取材し、進路実現の糧とするコーナーです。今回は竹内貴大さん(十川中学校→四万十高校自然



環境コース:H21年度卒→四万十清流消防署)です。

(取材:教諭 小笠原理佳)

高校時代 ソフトボール部を3年間続け、3年の時は部長を務めました。現在の職場は体育会系なので、先輩への礼儀や、気をきかせて動くことなど、ソフト部で学んだことが生かされています。

全国サミットでは川学習のリーダーでした。時間の調整など臨機応変に対応するのが大変だったことが印象に残っています。

生徒会執行部の体育委員長もやりました。「しゃべれる」というのは、社会に出て大変役に立つので、やっててよかったと思っています。

あとは彼女がいたら楽しかっただろうなあ(笑)

3歳から続けている神楽では全国大会に出演したり、四万十町から表彰されたりしました。

公務員合格への道 部活との両立のため、メリハリつけて学習し、夏休みには専門学校の夏期講習にも参加しました。自分は暗記が得意なので、一般教養を中心に勉強しました。少しでもやる気をアピールしようと5日間の救急法講習に参加し、履歴書に書きました。

また、普段からある程度真面目にしておくことが大切です。信頼があると応援してくれる人が多くなるからです。見た目も大事なので、普段から身だしなみを整えておくほうがいいと思います。

採用になったのは「地元の人間だから」という部分もあったと思います。神楽など、多くの活動を通して、地域の人々が自分という人間を知ってくれていたことが信頼につながったのではと考えています。

現在 勤務は原則「当務・非番・当務・非番・当務・休休」というシフトです。当務日に出勤がなければ、建築許可などの書類作成、非番の日は訓練や研修をします。休日でも人手が足りなくなれば出勤するので、四万十町外に出るときは届出が必要です。救急の出勤が多く、1日5~6回、多い時で10回出ることもあります。配属されてすぐに建物火災があり、呼吸器を背負って先輩の援護をしました。多くの人を助けたいので、潜水士や救急救命士など、取れる資格はどんどんと取っていきたいです。

10～12月行事予定

10月			11月			12月		
日	曜	行 事	日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火	体験入学	1	金	マラソン大会	1	日	
2	水		2	土		2	月	2学期期末考査①
3	木		3	日	文化の日	3	火	2学期期末考査②
4	金		4	月	振替休日	4	水	2学期期末考査③
5	土		5	火	週明テ(数)	5	木	2学期期末考査④
6	日	土佐の海の環境学④	6	水		6	金	2学期期末考査⑤
7	月	週明テ(国)	7	木	1年非行防止教室	7	土	
8	火	2学期中間発表	8	金		8	日	
9	水		9	土		9	月	週明テ(英)
10	木		10	日	第2回英検(2次)	10	火	
11	金		11	月	週明テ(国)	11	水	
12	土	第2回英検(1次)	12	火	修学旅行①	12	木	火災避難訓練
13	日		13	水	修学旅行②	13	金	1～2年進路講演会
14	月	体育の日	14	木	修学旅行③ 3年生認知症講座	14	土	
15	火	2学期中間考査①	15	金	修学旅行④	15	日	
16	水	2学期中間考査②	16	土		16	月	週明テ(数)
17	木	2学期中間考査③	17	日	生物分類技能検定	17	火	1～2年進路説明会 出前授業3-2
18	金	2学期中間考査④ 自動車学校入港説明会	18	月	週明テ(社)	18	水	
19	土		19	火		19	木	1年生認知症講座
20	日		20	水	幡多支部高校駅伝大会	20	金	ホームマッチ
21	月	週明テ(社) 45分授業	21	木	2年生認知症講座	21	土	
22	火		22	金		22	日	
23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月	天皇誕生日
24	木	不入山フィールドワーク	24	日	ビジネス文書検定	24	火	終業式
25	金	体育祭総練習	25	月	2学期期末考査発表 環境学習報告会	25	水	
26	土	体育祭	26	火	幡多地区高校生人権問題学習会	26	木	
27	日		27	水		27	金	
28	月	代休	28	木		28	土	
29	火	週明テ(英)	29	金		29	日	
30	水	体育祭予備日	30	土		30	月	
31	木					31	火	

編集後記

創刊号から間隔が少しあいてしまいましたが、第2号が無事発行となりました。夏休みも色々あり、新聞に掲載できていない活動もあって学校はにぎやかでした。2学期は行事が多く、中間テスト以降は不入山フィールドワークや体育祭にマラソン大会、修学旅行、環境学習報告会などなど盛りだくさんです。できるだけ記事としてお知らせしていきたいと思います。

また、広報部の部員も役員交代となり、次号以降は記者も入れ替わります。新しい視点で取り組んでいきたいと思います。他にも「こんな記事や企画をやってほしい」というリクエストがありましたら、あなたの近くの広報委員や下記の連絡先へお知らせください。

秋らしい空気が感じられるようになってきました。みなさん体調を崩さないよう自己管理をしっかりとやりましょう。それでは次号でまたお会いしましょう。

(広報委員長：川村未来)

企画・編集

四万十高校生徒会 広報部

お問い合わせ窓口：四万十高校総務部

メール shimanto-h@kochinet.ed.jp

電話 0880-27-0034

FAX 0880-27-0477

ホームページアドレス

<http://www.kochinet.ed.jp/shimanto-h/>

学校ホームページも随時

更新しています。QRコード

からアクセスして下さい。

